子どもの心を育み、安全を守るために 半径5メートルからできること

2022年6月13日

桶川市立桶川東小学校PTA

目指す姿

・地域の大人からの子どもや保護者への言葉がけが溢れる地域

・安心、安全なセーフコミュニティ作り

<u>※セーフコミュニティとは</u> 地域の人々みんなで、安全・安心なまちづくりを 目指す地域社会のことです。



実施に至る背景①



心の部分



コロナ 地域、保護者コミュニティーの希薄化 子どものトラブル増加

家庭は「人の育ちの原点」であり、毎日の暮らしの中で子どもが基本的な生活習慣や規範意識、自立心、社会のルールやマナーを身に付け育っていく上で、とても重要な役割を担っています。 昨今、スマホ等の普及をはじめとする技術革新、核家族化、共働きや一人親家庭の増加など、 家庭を取り巻く環境に大きな変化が見られるなか、親子の育ちを支える人間関係の希薄化が 進み、子育てについての悩みや不安を抱える家庭が多く存在しており、今般のコロナ禍により、 状況の悪化が懸念されています。

実施に至る背景②



安全の部分



交通量、転入者の増加 危険箇所の増加 緊急時対応

近年、暴走運転による事故、高齢者による運転ミスや自転車のマナー、歩行者自身の信号無視などによるトラブルが頻発しています。特に桶川東小学校の周辺地域の場合、区画整理による住宅の増加に伴い、他の地域よりも交通事情は多様かつ複雑なものになっています。交差点や通学路にはスクールガード等による見守りが行われていますが、事故防止のためにはより多くの目で見守る必要があると考えています。

目的は??

人と人との「きずな」は、 あいさつからはます。 今回のあいさつ運動の目的は あいさつの大切さや素晴らしさを 改めて確認し合い、 あいさつを通して心の通い合った 地域づくりを目指すことです。



何をするの??



★ 登校班の集合場所、下校班の解散場所、ご自宅前



いってらっしゃい」「おかえり」のあいさつ活動

(登校時)

登校班集合場所まで児童と一緒に向かい、 出発時に「いってきます」と「いってらっ しゃい」の言葉のキャッチボールをしてあ げてください。

また、時間に余裕のある方は通学路を一緒 に歩いてあげてください(可能な範囲まで)

(下校時)

下校班の解散場所、自宅前に立っていただき、 帰宅時に「ただいま」と「おかえり」の言葉 のキャッチボールをしてあげてください。 また、他の児童にも元気な言葉がけをしてい ただけると嬉しいです。

【あいさつの意味合いを考える】



「いってきます」

「行きます」と「帰ってきます」を合わせ、"今から 出かけます、そして帰ってきます"と再び帰って来ま すという意味が込められた言葉で昔は旅をするのも 命がけで「いってきます」と言うことにより「必ず 帰ってきます」という誓いをしたと言われています。



「いってらっしゃい」は「行って、無事に戻ってきてください」という意味が込められる言葉だと 「いってらっしゃい」は「行って、無事に戻って 言われています。



「ただいま」 と 「おかえりなさい」 「いってきます」の言葉による約束を果たした言葉が 「ただいま」と。

それに対して、「おかえりなさい」は「約束を守って 帰ってきてくださった。ありがとう」の感謝の言葉だ と言われています。



期待される効果



- 誰もが気持ちよい元気なあいさつを交わす環境をつくることで、人と人とのつながりを深め、住みよい地域づくりにつなげます。
- あいさつにより、豊かな人間関係と思いやりのある心を醸成し、自分の住む地域に対する深い愛情を育みます。
- 日常的にあいさつを交わすことで、人と人とのつながりが深められ、子どもたちの登下校時や、生活の安全を守る効果が期待できます。また、災害時の連携・協力体制の向上にも貢献できます。

皆様のご参加をお待ちしております